



受贈記念特別展  
中国の陶磁・漆・青銅  
Chinese Ceramics, Lacquer and Bronzes

2011年11月16日[水]～12月25日[日]  
[休館日] 月曜日



根津美術館では、2011年11月16日[水]から12月25日[日]まで、受贈記念特別展「中国の陶磁・漆・青銅」展を開催します。本展は2009年から2011年に寄贈を受けた中国の陶磁器、漆器、青銅器の3つの新収蔵コレクション82点を展示し、多彩な中国工芸品の様相をご覧ください。

陶磁器は唐時代の愛らしい姿の壺や瓶をメインとした藤崎コレクションで、古代の土器、漢時代の灰釉陶器や緑釉陶器、清時代の茶葉末釉瓶など、いずれも小さな作品が中心です。根津美術館では、唐時代以前の陶磁器が少なく、この度の寄贈によって紅色の土に鉄絵文様が施された彩陶、漢時代の緑釉のかかった壺や博山炉など、古代中国の陶磁器の収蔵品が充実しました。

漆器は、宋時代の無文漆器や彫漆を中心とした永田コレクションで、平成16年秋に当館で開催した「宋元の美」展に出品された作品を中心に寄贈されました。永田コレクションは、宋時代の漆器の存在を信じて収集された世界でも唯一のもので、宋代の漆器の美しさを広く世界に示しています。黒漆や朱漆の椀や杯、皿などは端正な形姿だけでなく、そこに施された超絶技法を楽しめる作品が数多く展示されます。例えば屈輪文といわれる不思議な幾何学文は、底に黄漆を塗り、これに黒、赤、緑、黄の4色の漆を9層に塗り、この色漆の重なりが見えるように彫り込んで文様を見せたもので、彫彩漆とも言われます。このほかには薄い貝を象嵌した螺鈿や彫文に色漆を塗り込めた填漆の作品などが展示されます。

青銅器は、漆器の研究家として世界的に著名な李氏のコレクションから、希少な杯台を寄贈いただきました。

## 《受贈記念特別展》「中国の陶磁・漆・青銅」

### 展示室 1



白磁浄瓶 1口 中国・唐時代 8世紀 高さ 26.5 cm  
根津美術館蔵 [藤崎隆三氏寄贈]

白磁というよりは、白土で表面を白くし、これに透明釉をかけて焼き上げた瓶である。もともとは仏教の法具で金属器の浄瓶を写したものであるが、唐時代特有の柔らかな形姿と白い釉が、穏やかな作品を作り出している。



青磁天鷄壺 1口 中国・東晋時代 4世紀 越州窯 高さ 18.5 cm  
根津美術館蔵 [藤崎隆三氏寄贈]

口を大きく造り、その縁を龍がくわえる形で取柄とし、注口は鶏の頭を象っている。越州窯の青磁がオリーブグリーン釉薬となり、華やかさがみられるようになった時期の作品である。



黒漆輪花椀 2口 中国・北宋時代 10～12世紀  
径 12.5 cm 根津美術館蔵 [永田牧子氏寄贈]

丸い五弁の花形で、碗の縁がすこし外に反った姿が端正な椀である。無文漆器という文様のないシンプルな作品で、黒漆の艶やかな光沢と、薄く作られた器の形のよさが魅力である。



堆黒屈輪文合子 1口 中国・南宋時代 12～13世紀  
径 21.0 cm 根津美術館蔵 [永田牧子氏寄贈]

黒漆を厚く塗り重ねて、屈輪文とよばれる雲のような形をした文様を大きく彫りあらわした合子である。良質の漆を塗り重ねた艶やかでボリューム感のある作品。



輪花杯台 1口 中国・北宋時代 10～12世紀 径 13.3 cm  
根津美術館蔵 [李汝寛氏寄贈]

茶碗や酒杯をのせる台である。青銅でできた杯台で、杯を受ける部分が丸くふくらみ、六弁の花をかたどった羽が優美な作品である。

## [関連情報]

### 講演会 1 「永田コレクションと中国漆器」

日時 2011年12月3日(土) 午後2時から午後3時30分  
講演 多比羅菜美子(根津美術館 学芸員)

### 講演会 2 「藤崎コレクションの唐磁」

日時 2011年12月10日(土) 午後2時から午後3時30分  
講演 西田宏子(根津美術館 副館長)

場所はいずれも根津美術館 講堂、定員140名

(申し込み方法) 往復はがきに、希望する「講演会1」または「講演会2」、住所、氏名(返信面にも)電話番号を明記の上〒107-0062 東京都港区南青山6-5-1 根津美術館『中国の陶磁・漆・青銅』宛にお申込み下さい。  
「講演会1」は2011年11月19日(土)、「講演会2」は11月26日(土) 締切(当日消印有効)  
※参加希望者1名につき1枚の往復はがきでお申し込みください。応募者多数の場合は抽選となります。  
※聴講は無料ですが、入館料をお支払いください。

## ◆ギャラリートーク

2011年11月25日(金)、12月16日(金)

※いずれも午後1時30分より約45分間 イヤホンガイドを使って行います。  
※当日先着30名様に限らせていただきます。  
※午後1時よりホールにて整理券を配布します。  
※参加は無料ですが、入館料をお支払いください。

## —同時開催— 《テーマ展示》

### 展示室2 「中国の人物画 —宗教・説話・風俗—」

人物画は、唐時代以来、山水画・花鳥画とならぶ中国絵画の重要なジャンルとされてきました。また人物を主に描く絵画はしばしば、宗教画、説話画、風俗画などの側面も同時に持っています。元・明時代の多彩な人物画を特集します。



三星囲碁図 朱氏筆 中国・元時代 14世紀 根津美術館蔵

### 展示室5 「色絵いろいろ」



色絵鉄仙花唐草文茶碗 野々村仁清作 江戸時代 17世紀 根津美術館蔵

江戸時代初期の1640年代、肥前と京都で色絵の器が生まれ、京都では柿右衛門・仁清・乾山などが有名である。この茶碗は赤、青緑に金彩を加えて花唐草文が描かれている。

### 展示室6 「夜咄<sup>よばなし</sup>の茶」



利休瀬戸茶入 銘一夜 桃山時代 16世紀 根津美術館蔵

師走の茶会といえ、親しい友を招いて夜長を過ごす「夜咄」のことである。茶席にゆらめく灯火のもと、主客は心をひとつにする。年の瀬にふさわしい茶道具約20点をご用意いたします。

[開催概要]

- 【展覧会名】 受贈記念特別展「中国の陶磁・漆・青銅」
- 【主催】 根津美術館
- 【開館期間】 2011年11月16日(水)～12月25日(日)
- 【開館時間】 午前10時～午後5時 [入館は午後4時30分まで]
- 【休館日】 毎週月曜日
- 【入館料】 一般1200円 学生1000円  
\* 20名以上の団体、身障者手帳提示者および同伴者1名は200円引き  
\* 中学生以下は無料
- 【前売券】 一般1100円 学生900円  
\*2011年10月8日(土)～11月6日(日)開館70周年記念特別展「春日の風景」  
開催期間中、根津美術館ミュージアムショップにて販売
- 【アクセス】 地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線〈表参道〉駅下車  
A5出口(階段)より徒歩8分、B4出口(階段とエスカレータ)より徒歩10分、  
B3出口(エレベータまたはエスカレータ)より徒歩10分
- 【住所】 〒107-0062 東京都港区南青山6丁目5番1号
- 【お問い合わせ】 TEL 03-3400-2536 (代表)
- 【ホームページ】 <http://www.nezu-muse.or.jp>
- 【携帯サイト】 <http://www.nezu-muse-app.jp>  
\*携帯サイトは、機種により閲覧できない機能があります。
- 【専用アプリ】 「App Store」・「Android マーケット」から [根津美術館](#) を [検索](#)



<次回展>

コレクション展

ひゃくちんす  
「百椿図 一椿をめぐる文雅の世界」

2012年1月7日(土)～2月12日(日)

江戸時代初期、空前の園芸椿ブームのもので制作された「百椿図」の全貌を紹介します。

<リリース・広報のお問い合わせ>

担当:鎌倉/羽田/白原

TEL 03-3400-2538 広報(直) FAX03-3400-2436 MAIL: [press@nezu-muse.or.jp](mailto:press@nezu-muse.or.jp)



## [最新情報]

一手のなかに古美術の愉しさを一

### 根津美術館「web アプリ」がスタートしました

根津美術館が所蔵する日本・東洋の古美術作品や、ギャラリー、庭園など、その魅力を国内外に広く伝えるため、スマートフォン、タブレット端末、携帯電話に対応した根津美術館「web アプリ」を日本語・英語同時にスタートしました。日本美術のビギナーから愛好家まで、幅広い層の方々へ、古美術の愉しさを発信します。いずれも無料。

「App Store」・「Android マーケット」から [根津美術館](#) を [検索](#)  
または携帯より [\[http://www.nezu-muse-app.jp\]](http://www.nezu-muse-app.jp) にアクセス



### 第2回「はじめてのお茶会 一雛まつりの席」 2012年3月8日 [木] 開催

#### 一虎屋のお雛さま 開催期間 11/16～販売開始

この秋、はじめて販売し好評だった「はじめての茶席 一秋を楽しむ」の第2弾として、明年「虎屋のお雛さま」開催期間中となる3月8日 [木]、「はじめてのお茶会 一雛まつりの席」を開催します。この茶会では展示とあわせ虎屋の雛菓子をご一緒にお楽しみいただきます。販売は、「中国の陶磁・漆・青銅」会期初日11月16日 [水] より、美術館受付にて販売。定員になり次第終了となります。

### 2012年カレンダー、新商品 販売のお知らせ

#### [ミュージアムショップ]

根津美術館のコレクションの中から“花”をモチーフにした作品を選んだ2012年のカレンダーを10月8日 [土] より販売します。表紙は、明年の干支<龍>の姿が正面から大きくあらわされた中国・明時代の名品「堆朱雲龍文盆」をデザイン。あわせて同じ柄のクリアファイル、ポストカードも販売します。

・2012年カレンダー 2,000円、クリアファイル300円、ポストカード100円



### 秋のあたたかいデザートメニューが始まります

#### 2011年10月8日より [NEZUCAFÉ]

昨年好評だった「ホットアップルパイ」が今年も季節限定で登場します。国産の紅玉りんごを使用し、パイ生地にバウムクーヘンを挟んで焼きあげた、あたたかいアップルパイです。

・ホットアップルパイ バニラアイスクリーム添え 750円



### ふるさと切手シリーズ<旅の風景シリーズ14集>

#### 10月21日より 根津美術館の施設と所蔵作品の切手が、販売されます。



この秋、郵便事業株式会社が発行する、人気シリーズのひとつ「ふるさと切手」の<旅の風景シリーズ第14集>において、東京・表参道周辺の代表的な景色として、「外苑の銀杏並木」、「代々木体育館」や「代々木公園」と並び、「根津美術館」が、郵便切手として発売されることになりました。

1カット80円切手10枚のうちの2枚が根津美術館の風景。1枚は庭園からみた美術館の外観、もう1枚は当館が所蔵する作品、国宝「燕子花図屏風」(部分)です。全国の郵便局、郵便事業株式会社支店、また当館ミュージアムショップにて、10月21日より1シート(8枚入りシリーズ)800円で販売されます。